

製品名: RECK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16990**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	RECK
別名	RECK; ST15; Reversion-inducing cysteine-rich protein with Kazal motifs; hRECK; Suppressor of tumorigenicity 15 protein
遺伝子 ID	8434.0
SwissProt ID	O95980
免疫原	抗血清はヒト RECK 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 21-70

背景

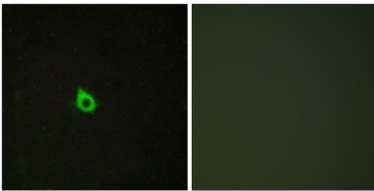
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、システインに富む細胞外タンパク質で、プロテアーゼ阻害剤様ドメインを有し、多

くの腫瘍や様々な癌遺伝子によって形質転換された細胞ではその発現が強く抑制されています。正常細胞では、この膜アンカー型糖タンパク質は、腫瘍の浸潤と転移に関与する重要な酵素であるマトリックスメタロプロテアーゼ-9の負の制御因子として機能する可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2015年10月]、機能: マトリックスメタロプロテアーゼ-9 (MMP-9) の分泌を抑制し、その酵素活性を直接阻害することで、MMP-9を負に制御します。発癌シグナルによる RECK のダウンレギュレーションは、腫瘍の浸潤と転移を促進する可能性があります。癌の進行に関与する MMP-2 および MT1-MMP も制御すると考えられる。、PTM: N-グリコシル化。、類似性: 3つの Kazal 様ドメインを含む。、サブユニット: MMP-9 と相互作用する。、組織特異性: 様々な組織および非形質転換細胞で発現する。腫瘍由来細胞株および腫瘍形成性形質転換細胞では検出されない。、

研究分野

がん; 腫瘍タンパク質/抑制因子; 腫瘍抑制因子; 細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; プロテアーゼ阻害剤; セリンプロテアーゼ阻害剤; RECK

画像データ



RECK 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。